

社会教育研究集会の発表

八月二十七日に行われた社会教育研究集会には、次のことが研究討議され、参加した各代表の方から町を明るくし、生活を豊にするため真剣な話しあいました。今後の社会教育のあり方や生活についての考え方の参考にしたいと思います。

青少年の教育に

関する問題

青少年に希望や目的をもたせ研修意欲を盛り上げるにはどうすればよいだろうか。現在の青年団活動や、青年学級は一般的に極めて底調である。その不振は出席不振によるもので、出席の少ない原因としては

1 義務的なものでないこと

2 周囲や両親の関心が少ない

3 青年自体の研修意欲の不足

等があげられる。研修意欲のもり上げ方として

1 グループによる研究

2 技術や趣味的なものを通しての研修

などがあります。

この為には幹部講習と青年学級の後援会の設置が必要であるまい。

そして地域ぐるみ青少年の不

良化防止にも青年の動態を考慮に入れて組織的に推進すべきである。子供会の育成も、子供会の意義やその性格を父兄がよく認識してからでないと健全な育成はむずかしい。子供会の主體性が後援会によつてひきづりまわされてしまうこともあろうし、又予算も少ないので子供会の活動は学校行事との連絡を密にして、金のかゝらない行事を考えるべきであろうとの意見が提出された。

婦人学級が自主的に運営され絶えず魅力を持たせての學習に心掛けるべきだとし

よい話しあつた。

1、父親の集会は生産的なも

のに結びつけると集りがよ

い。

2、問題や課題がないと雑談

3、社会全般の民主化は進ん

るということ。そして自分の学級の成績としては、自分たちを磨くことが第一である。学級生自身が協力して

1、父親の集会は生産的なものに結びつけると集りがよ

い。

2、問題や課題がないと雑談

3、社会全般の民主化は進ん

る。そこで、その運営は役員だけのものでなく、学級生自身が協力して

1、父親の集会は生産的なものに結びつけると集りがよ

い。

2、問題や課題がないと雑談